

聖霊の働き

ヨハネによる福音書 16:12-15

言っておきたいことは、まだたくさんあるが、今、あなたがたには理解できない。しかし、その方、すなわち、真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。その方は、自分から語るのではなく、聞いたことを語り、また、これから起こることをあなたがたに告げるからである。その方はわたしに栄光を与える。わたしのものを受けて、あなたがたに告げるからである。父が持つておられるものはすべて、わたしのものである。だから、わたしは、『その方がわたしのものを受けて、あなたがたに告げる』と言ったのである。」

説教

地図を見てもだめ、また詳しく道を教わってもどうしても道に迷ってしまう人がいます。地図が苦手なタイプの人です。そんなタイプの人を親しみをこめて方向音痴ということがあります。

親子関係、夫婦関係、友達関係、職場やご近所との人間関係、また他者ではなく自分自身との関係でも体調不良や病気など、いろいろなことがうまくいかないことはあります。このような行き詰っている状態をかりに霊的な迷子状態としましょう。ただふつうに戻りたいだけなのにうまくいかない。目的地に着くことはさておき、せめて出発地に戻りたい。でもいま自分がどこにいるのかもわからない。方向音痴ならぬ「霊的音痴」状態です。でも「真理の霊＝聖霊」はわたしが希望する「その道」をことごとく悟らせてくれると福音は語っています。

真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。ヨハネ 16:13

ここでヨハネ福音書が語る「真理の霊」とは聖霊をさしています。聖霊が来るとわたしたちは聖霊に導かれて真理を悟るんだ、とみことばは教えていま

す。「導く」とは具体的にはどんなことをいっているのでしょうか。わたしは聖霊は「道」を指し示してくださるのだと思っています。聖霊はわたしたちを真理の道へと導いてくださるのです。では「真理の道」とはどのようなもののでしょうか。

神の知恵は語る。主は、その道の初めにわたしを造られた。 箴言 8:22 (第一朗読)

神の知恵とはロゴス（ことば=みことば）であり真理です。

「その道」に先だって知恵をつくられました。知恵=ロゴスは道より先行しています。まず知恵があってそこに続く道をつくった。道の初めに知恵がある。道の行き先は「神の知恵」ロゴスということになります。道とは「神の知恵」へと続く道です。だからこそ導かれた道を進むことで不安は消え、それは安心の道となります。

古くから聖書は地図のようなものだたとえられてきました。地図がわたしたちに道を教えてくれるように、霊的な迷子になったら聖書を見なさい、そこに記されている道に戻りなさいという教えです。聖書に書かれたみことばは霊的な道をわたしたちに指し示してくれます。この説教がみことばの読み解きの助けとなって、一人ひとりの霊的な道を示すことができますように。
